

## 平和構築と治安部門改革 (SSR)

開発と安全保障の視点から

上 杉 勇 司

(広島大学大学院国際協力研究科准教授)

SSRとは、国民が安心して暮らせる社会にするために、国家の治安維持を担う関係機構を改革することである。

図1：SSRの射程

SSR			
治安提供組織		監督・監視組織	
能力向上	体質改善	能力向上	体質改善

図2：安全保障の概念の変化

	伝統的な安全保障・治安部門	新しい安全保障・治安部門
安全保障の概念の拡大	軍事的な安全保障	非軍事的な安全保障（政治、経済、社会）
安全保障の概念の深化	国家の安全保障	人間の安全保障

図3：改革の対象となる治安部門の4分類

治安提供組織

非国家治安提供組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>民間軍事会社</li> <li>反政府武装勢力</li> <li>政党に所属する民兵組織</li> <li>伝統的な治安組織（たとえば、村の防犯・防災を担当した治安維持組織である若衆・若者組のようなもの）</li> </ul>	国家治安提供組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>軍隊</li> <li>準軍事組織</li> <li>諜報・公安組織</li> <li>警察・憲兵隊</li> <li>国境警備隊・税関吏</li> <li>裁判所・検察・刑務所</li> </ul>
民間監督組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体</li> <li>マスコミ</li> <li>オンブスマン</li> </ul>	公的監督組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政府（内務省、国防省、司法省、法務省、公安委員会）</li> <li>国会・議会</li> </ul>

ガバナンス・監督組織

図4：SSRの包括性と多層性

